

民生委員・児童委員の 活動実態調査報告書



熊本市民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは隣人愛をもつて
社会福祉の増進に努めます

児童憲章（前文）

我々は、日本国憲法の精神にしたがい、
児童に対する正しい観念を確立し、すべて
の児童の幸福をはかるために、この憲章を
定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境のなかで育てられる。

- 一、わたくしたちは常に地域社会の
実情を把握することに努めます
- 二、わたくしたちは誠意をもってあらゆる
生活上の困窮に応じ自立・援助に努めます
- 三、わたくしたちはすべての人々と協力し
明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 四、わたくしたちは常に公正を旨とし
人格と識見の向上に努めます

はじめに



熊本市民生委員児童委員協議会
会長 小山 登代子

平素は、熊本市民生委員児童委員協議会の運営に、ご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、地域社会を取り巻く生活課題は、複合的で、他人への寛容さを失うなど、深刻化しています。

こうした状況のなか、地域支え合い活動の中心を担う、民生委員・児童委員（以下「民生委員」）は、「なり手」確保の困難さが問題とされており、この度、民生委員の意識や活動の実態を把握し、今後に向けた対応策検討のため「活動実態調査」を実施いたしました。

この調査には、九州看護福祉大学 准教授 村本 浄司 氏、同専任講師 田島 望 氏のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

調査結果から、どのようなことによろこびを感じているか、対応に苦慮していることは何か、個人情報の活用状況などが明らかになりました。

課題を解決していくためには、熊本市民児協として、組織の強化、関係機関・団体との積極的な連携、活動の理解促進のための広報活動など、地域の実情にあわせた取り組みが求められています。

今後も、総評でいただいたご提案や委員の皆様のご意見を踏まえ、民生委員活動の環境整備を進めてまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

目 次

はじめに	1
目 次	2
概 要	3
総 評	6
九州看護福祉大学 看護福祉学部社会福祉学科 准教授 村本 浩司 氏 専任講師 田島 望 氏	
集計結果	9
おわりに	43
調査票	44

概要

1. 趣旨・目的

地域共生社会の実現に向け、地域福祉の担い手として民生委員・児童委員への期待がより一層高まる一方、負担が大きいなどさまざまな課題が指摘されている。

そこで、活動状況や負担感、関係機関との連携等の実態を把握し、課題の整理と解決に向け取り組むことを目的として調査を行うものである。

2. 実施主体・実施体制

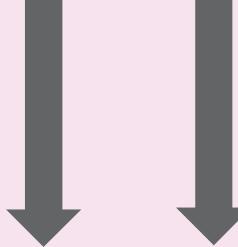
(1) 実施主体 熊本市民生委員児童委員協議会

(2) 実施体制 プロジェクトチームによる

プロジェクトチームメンバー	
熊本市民生委員児童委員協議会	会長 小山 登代子 副会長 丸山 透 副会長(主任児童委員部会長) 津地 尚文
熊本市	健康福祉政策課
熊本市社会福祉協議会	地域福祉推進課(民児協事務局)

3. 実施スケジュール

令和2年 10月	第1回プロジェクトチーム会議 ◇調査票(素案)作成 第2回プロジェクトチーム会議 ◇調査票(素案)作成	
11月	第3回プロジェクトチーム会議 ◇調査票(案)作成 ◇実施スケジュールの確認	市民児協理事会 ◇調査票(案)の提示及び スケジュール説明
12月		各区民児協会長会 ◇調査票(案)の提示及び スケジュール説明 市民児協理事会 ◇調査票の提示 ◇スケジュールの延期 ※新型コロナウィルスの 影響による
令和3年 1月		市民児協理事会 ◇スケジュールの再検討
2月		各区民児協会長会(ほか) ◇調査票の配付
3月		市民児協会長会 ◇提出期限について説明

4月		
5月		市民児協会長会（書面開催） ◇会長集計表及び調査票提出 ⇒5月末日全単位民児協 より提出完了
6月		◇集計作業（数値部分）
7月	第4回プロジェクトチーム会議 ◇調査実施スケジュール報告 ◇集計結果の提示（数値部分） ◇今後のスケジュール確認	◇集計作業（記述部分） 
8月		
9月		
10月		
11月	第5回プロジェクトチーム会議 ◇学識経験者への総評依頼報告 ◇集計結果の提示（全体） ◇報告書体裁の確認 ◇今後のスケジュール確認	◇学識経験者へ総評依頼 九州看護福祉大学 看護福祉学部社会福祉学科 准教授 村本 浩司 氏 専任講師 田島 望 氏
12月	第6回プロジェクトチーム会議 ◇今までの経過報告 ◇意見交換（協議） ◇報告書体裁の確認 ◇今後のスケジュール確認 ※九州看護福祉大学 田島専任講師 同席	◇課題整理及び分析 
令和4年 1月	第7回プロジェクトチーム会議 ◇今までの経過報告 ◇調査結果総評の説明 ◇報告書内容の確認 ◇今後のスケジュール確認 ※九州看護福祉大学 村本准教授、田島専任講師 同席	◇報告書（案）作成 
2月	第8回プロジェクトチーム会議 ◇今までの経過報告（総括） ◇報告書（案）の最終確認 ◇今後における報告書の活用	◇報告書校正作業 
3月		市民児協会長会 ◇報告書完成・配付

※なお、プロジェクトチーム会議内容や集計結果、報告書（案）等については、
その都度市民児協理事会へ報告。

4. 調査項目

(1) 委員自身のことについて【9問】

- ①性別 ②年齢 ③在任期間 ④担当（地区・主任児童委員） ⑤引き受けた動機
- ⑥引き受けての感想 ⑦家族の理解や協力 ⑧活動を応援してくれる住民の存在
- ⑨日常的な相談相手・機関

(2) 住まいの町内のことについて【5問】

- ①自治会との連携 ②福祉的な活動に取り組んでいる団体の存在 ③地域住民同士の支え合い ④近所の方などに行っている身近な活動 ⑤「助け合いや支え合い」の仕組みや取り組み

(3) 民生委員・児童委員活動の中での悩みや苦労について【3問】

- ①活動の負担 ②活動の悩みや苦労 ③活動しやすい環境づくりに向けた取り組み

(4) 名簿について【4問】

- ①高齢者名簿の必要性と活用方法 ②高齢者名簿の配付範囲 ③災害時要援護者登録者名簿の活用方法 ④災害時要援護者登録者名簿をもとにした地域での話し合い

(5) 民生委員・児童委員の年齢要件について【2問】

- ①地区担当委員の年齢要件 ②主任児童委員の年齢要件

(6) 定例会について【3問】

- ①出席状況 ②内容への満足感 ③やってみたいこと、改善したいこと

(7) 研修について【2問】

- ①研修日程 ②研修内容

(8) 民生委員・児童委員の活動について【2問】

- ①やりがいを感じるか ②やりがいを感じる時

(9) 新型コロナウイルス関係について【4問】

- ①インターネット環境 ②Web会議への参加 ③Web会議参加の場合の問題点
- ④活動自粛時における訪問・相談活動

(10) 活動しやすい環境づくりに向けた取り組みのための意見や要望【自由記述】

5. 調査対象

熊本市内すべての民生委員・児童委員

（令和3年1月1日時点の委嘱委員1,354名が対象）

6. 回答率

98.3%

（調査対象委員1,354名中1,331名が回答）

総評

九州看護福祉大学
看護福祉学部社会福祉学科
准教授 村本 浩司
専任講師 田島 望

「民生委員・児童委員の活動実態調査」の総評をさせていただきます、九州看護福祉大学の村本浩司と田島望と申します。調査実施後からの関わりではありましたが、調査の目的である「民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりを図ること」にむけての一助となれば幸いに存じます。

今回の実態調査の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大変な苦労があったかと思います。そのなかでも、98.3%（調査対象委員 1,354 名中 1,331 名）という高い回答率であったことは、民生委員・児童委員（以下、民生委員）の活動実態の把握、また、民生委員が活動しやすい環境づくりに向けた方策を検討するための有効なデータ収集につながったと思います。本調査に尽力された、熊本市民生委員児童委員協議会、熊本市役所、熊本市社会福祉協議会のプロジェクトチームのみなさま、アンケートに回答された熊本市の民生委員のみなさま、ほんとうにお疲れさまでした。

さて、民生委員制度は、1917 年の「済世顧問制度」をはじまりとするならば、我が国で 100 年以上存続する制度です。その長い歴史のなかで、地域住民の身近な存在として、訪問や相談、必要な援助等の幅広い活動を通し、地域の福祉増進のために役割を果たしてきました。しかしながら、社会変動に伴う暮らしの変化や地域のつながりの希薄化は、新たな生活課題を生み出すとともに、民生委員の活動にも影響を与え、その結果、全国的に、担い手の不足や精神的な負担感、多様な活動に伴う負担が着目されるようになりました。

熊本市も例外ではありません。「在任期間」の回答で最も多いのは「1 期目」(33.7%) であり、次いで「2 期目」(28.2%) となっています。民生委員の活動に対する負担感については、「とても感じる」(4.7%) 割合は低いものの、「やや負担に感じる」(43.1%) を加えると約半数 (47.8%) となっています。この結果のみではすべてを語ることはできませんが、民生委員の活動が、みなさまにある程度の負荷をかけていることが推察されます。

一方で、民生委員のみなさまが責任感・使命感といった強い思いをもって活動に取り組まれていること、そのなかでさまざまな葛藤が生じていることも調査結果から伺うことができました。だからこそ、今回の実態調査を通して、民生委員のみなさまの思いを支え、葛藤を解消できる取り組みを実現していく必要があるのだと思います。

そのために必要な取り組みとして考えられるものを調査結果に基づいてコメントさせていただきます。

①個人情報の取り扱いやプライバシーへの対応について（業務の明確化を含む）

個人情報の取り扱いやプライバシーへの対応は、個人の尊重が謳われる時代において大変難しく、負担に感じる課題であると思います。民生委員活動の中での悩みや苦労についての項目では、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」(63.3%)と同時に「担当地域で孤立死が起こらないか心配」

(38.5%)といった項目が高くなっています。民生委員としての役割を果たしたいという気持ちがあるにもかかわらず、プライバシーの問題から関われない、踏み込めないとといった現状があるように思います。そのなかで、「もしかしたら孤立死が起こるのではないか」という精神的な負担につながっているような状況が伺えます。

そこで、民生委員が扱う個人情報やプライバシーに関しては、どこまで踏み込んでいいのか、もしくはこれ以上は踏み込まないといった基準を設けてもよいのではないかでしょうか。その代わり、関係機関や専門職とうまく連携して、支援をつなげていくことが求められると思われます。

こうした基準や連携のありかたは、研修を通して学ぶことができます。調査項目のなかで「活動事例を取り入れた研修」を望む声が多くあったように、より実践的な研修を積み重ねることで、民生委員の業務内容を明確にし、精神的な負担の軽減を図ることが可能となるのではないかでしょうか。

②相談相手や機関について

「日常的に相談している相手・機関はどのような人か」においては、「民生委員・児童委員の先輩、後輩」(68.2%)、「地域包括支援センター」(58.7%)、「単位民児協の会長」(58.6%)、「自治会、町内会」(51.8%)が高い項目となっていました。ここでは一人の民生委員にどれだけ身近な相談先があるのかまでは把握できていませんが、一人ひとりの身近な範囲での相談先に限られていることが伺えます。多様な生活課題への対応が求められ、そのつなぎ役を担う民生委員にとって、専門機関を含めた複数の頼れる場所や人がいることが、精神的な負担の軽減につながると思われます。

どのように相談先を広げていくのかという課題は残りますが、「相談相手（機関）がない」「相談先がわからない」人たちがいることも含めて、相談できる場所や機会といった環境を整えていくことが必要になると思われます。

③地域全体で取り組む仕組みづくりについて

問14の「住まいの地域で『助け合いや支え合い』の仕組みに似たような取り組みがあるか」(自由記述)では、地区ごとの多様な取り組みが見受けられました。住民自らが自発的に取り組んでいるものもあれば、必要に応じて組織したもの、従来の地域組織を活用したもの、社会福祉協議会と協力したものと幅広い取り組みがされていると思われました。

②で述べたように相談相手や機関を確保することも必要ですが、民生委員一人がすべてを担うということではなく、今後の地域福祉においては、地域全体で取り組むことができる仕組みやネットワークづくりが必要だと思われます。地域の実情の違いもあるかと思いますので、具体的な内容を示すことはできませんが、まずは様々な地域での取り組みを把握することが重要であると思われます。

そのうえで、地域の状況と照らし合わせながら、既存の取り組みと民生委員が協働する、またはそのような取り組みを創造するというような仕掛けや協力を行政や社協が行なうことが求められます。そのなかで、民生委員の活動にご理解いただき、ご協力いただける住民が増えていくこと、さらにそのことで地域のなかに住民同士のつながりを生み出していく好循環につながるのではないか。思われる。

また、「活動のやりがいや達成感を感じるもの」として、「喜んでもらえたり・感謝されたり」という項目が最も高く、さらにその他として、民生委員同士ではありますが「仲間ができたとき、一緒に活動ができたとき」、そして「地域にとけこみ信頼関係が生まれたとき」が高くなっています。地域全体で取り組むための仕組みづくりは、日々の活動のなかに新たなつながりを生み出し、達成感ややりがいにもつながっていくと思われます。

結果全体を概観するなかで、共通する現状や課題もありますが、内容や項目によっては地域差や個人差があるような状況が伺えました。そのため、各民生委員のみなさまには今回の結果と同時に自身の活動や地域（地区）についてふり返る機会にしていただけたらと思います。

時代に合わせた取り組みや変化も求められますが、その実現のためにも各地域（地区）の状況に応じた民生委員像を十分に描くことができるようになることが大事なのではないかと思います。そのためにも活動しやすい環境を整していくことが重要であり、民生委員を取り巻く住民をはじめとした機関や団体等の理解や協力が求められていると思われます。

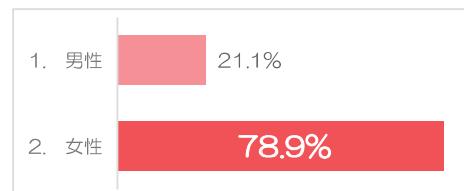
—集計結果—

- 〔注1〕数値は、回収数（1,331）を基準としたパーセントである。
ただし、ほとんどの質問は単一回答であり合計が100%となるが、一部複数回答の質問があり合計が100%とはならないものもある。
- 〔注2〕パーセントは、小数第一位表示としているため、四捨五入の影響により合計が必ずしも100%とはならない。
- 〔注3〕「わからない」や「無回答」も除かずに集計している。
- 〔注4〕各集計表及びグラフでは、数値のいちばん高いものを太字で示し、セル及びグラフの色を濃くしている。
- 〔注5〕「その他」や「自由記述」については、抜粋し一部要約の上記載している。

委員自身のことについて

問1 性別について

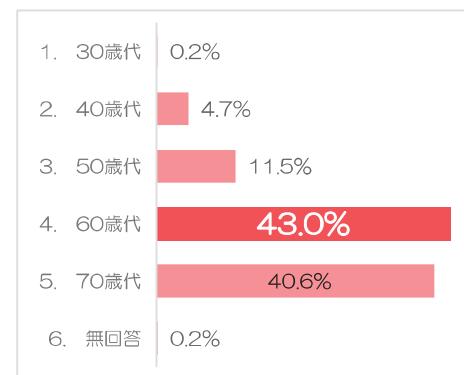
項目	回答数	割合
1. 男性	281	21.1%
2. 女性	1,050	78.9%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	44 12.1%	69 23.4%	46 22.7%	57 24.8%	65 27.2%
2	320 87.9%	226 76.6%	157 77.3%	173 75.2%	174 72.8%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問2 年齢について

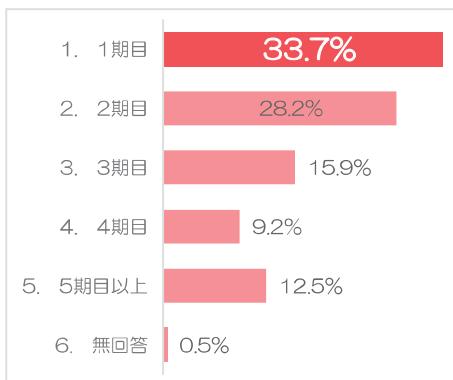
項目	回答数	割合
1. 30歳代	2	0.2%
2. 40歳代	62	4.7%
3. 50歳代	153	11.5%
4. 60歳代	572	43.0%
5. 70歳代	540	40.6%
6. 無回答	2	0.2%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2	20 5.5%	13 4.4%	9 4.4%	8 3.5%	12 5.0%
3	53 14.6%	37 12.5%	17 8.4%	25 10.9%	21 8.8%
4	148 40.7%	121 41.0%	83 40.9%	102 44.3%	118 49.4%
5	141 38.7%	123 41.7%	94 46.3%	95 41.3%	87 36.4%
6	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問3 在任期間について

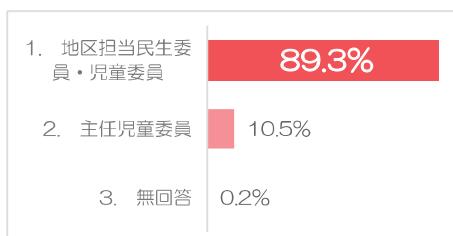
項目	回答数	割合
1. 1期目	449	33.7%
2. 2期目	375	28.2%
3. 3期目	212	15.9%
4. 4期目	123	9.2%
5. 5期目以上	166	12.5%
6. 無回答	6	0.5%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	85 23.4%	81 27.5%	66 32.5%	101 43.9%	116 48.5%
2	98 26.9%	91 30.8%	71 35.0%	68 29.6%	47 19.7%
3	66 18.1%	55 18.6%	33 16.3%	29 12.6%	29 12.1%
4	48 13.2%	30 10.2%	12 5.9%	15 6.5%	18 7.5%
5	63 17.3%	37 12.5%	21 10.3%	17 7.4%	28 11.7%
6	4 1.1%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問4 民生委員・児童委員としての担当について

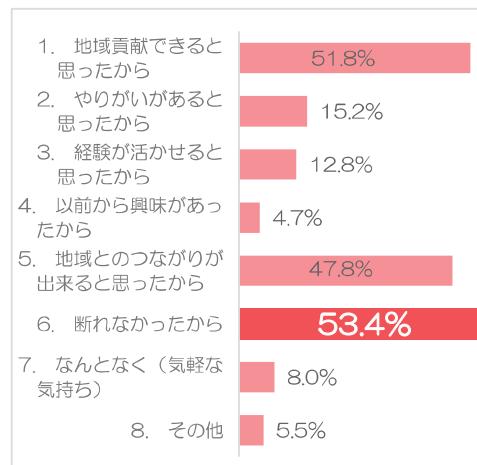
項目	回答数	割合
1. 地区担当民生委員・児童委員	1,189	89.3%
2. 主任児童委員	140	10.5%
3. 無回答	2	0.2%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	326 89.6%	267 90.5%	183 90.1%	205 89.1%	208 87.0%
2	37 10.2%	28 9.5%	20 9.9%	25 10.9%	30 12.6%
3	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問5 民生委員・児童委員を引き受けた動機について（あてはまるもの全て）

項目	回答数	割合
1. 地域貢献できると思ったから	689	51.8%
2. やりがいがあると思ったから	202	15.2%
3. 経験が活かせると思ったから	171	12.8%
4. 以前から興味があったから	62	4.7%
5. 地域とのつながりが出来ると思ったから	636	47.8%
6. 断れなかったから	711	53.4%
7. なんとなく（気軽な気持ち）	106	8.0%
8. その他	73	5.5%
合 計	2,650	—



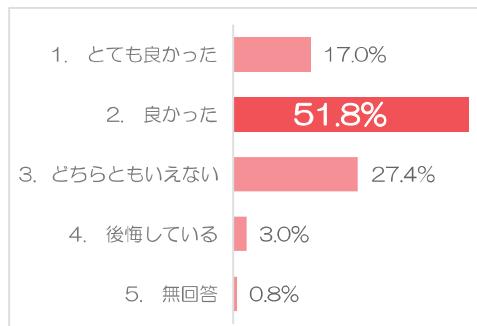
[8. その他] の回答

- 自身の学びになると思ったから
- 子どもとの関わりが楽しそうだったから
- 家族に勧められたから
- 誘われたから

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	176 48.4%	179 60.7%	96 47.3%	118 51.3%	120 50.2%
2	47 12.9%	45 15.3%	31 15.3%	36 15.7%	43 18.0%
3	43 11.8%	37 12.5%	23 11.3%	39 17.0%	29 12.1%
4	14 3.8%	17 5.8%	6 3.0%	17 7.4%	8 3.3%
5	159 43.7%	142 48.1%	99 48.8%	127 55.2%	109 45.6%
6	198 54.4%	149 50.5%	106 52.2%	134 58.3%	124 51.9%
7	27 7.4%	27 9.2%	17 8.4%	14 6.1%	21 8.8%
8	15 4.1%	11 3.7%	8 3.9%	14 6.1%	25 10.5%
合 計	679 —	607 —	386 —	499 —	479 —

問6 民生委員・児童委員、主任児童委員になったことをどう感じているか

項目	回答数	割合
1. とても良かった	226	17.0%
2. 良かった	689	51.8%
3. どちらともいえない	365	27.4%
4. 後悔している	40	3.0%
5. 無回答	11	0.8%
合 計	1,331	100%



項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	53	14.6%	62	21.0%	28	13.8%	46	20.0%	37	15.5%
2	183	50.3%	146	49.5%	115	56.7%	120	52.2%	125	52.3%
3	112	30.8%	77	26.1%	51	25.1%	58	25.2%	67	28.0%
4	12	3.3%	7	2.4%	7	3.4%	6	2.6%	8	3.3%
5	4	1.1%	3	1.0%	2	1.0%	0	0.0%	2	0.8%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問7 委員活動に対する家族からの理解や協力を得られているか



項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	330	90.7%	261	88.5%	175	86.2%	200	87.0%	216	90.4%
2	25	6.9%	25	8.5%	23	11.3%	22	9.6%	20	8.4%
3	4	1.1%	2	0.7%	2	1.0%	5	2.2%	2	0.8%
4	5	1.4%	7	2.4%	3	1.5%	3	1.3%	1	0.4%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問8 周りに活動を応援してくれる住民がいるか



項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	254	69.8%	193	65.4%	149	73.4%	141	61.3%	163	68.2%
2	26	7.1%	19	6.4%	13	6.4%	20	8.7%	16	6.7%
3	75	20.6%	75	25.4%	38	18.7%	67	29.1%	58	24.3%
4	9	2.5%	8	2.7%	3	1.5%	2	0.9%	2	0.8%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

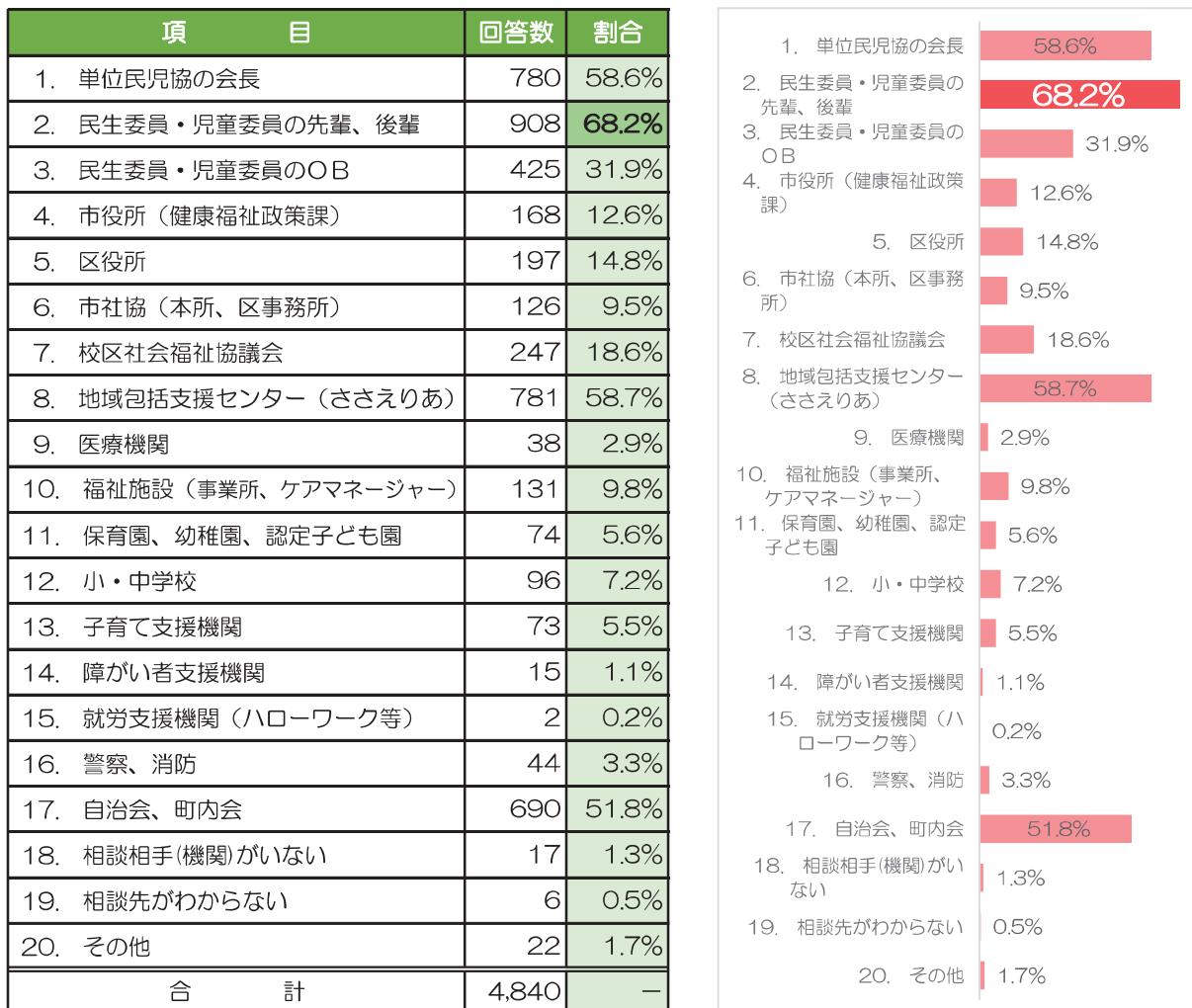
周りに活動を応援してくれる住民がいる場合、それは何人くらいか

項目	回答数	割合
1. 1人	58	6.4%
2. 2人	102	11.3%
3. 3人	124	13.8%
4. 4人	46	5.1%
5. 5人	160	17.8%
6. 6人	22	2.4%
7. 7人	8	0.9%
8. 8人	9	1.0%
9. 9人	0	0.0%
10. 10人以上	218	24.2%
11. 無回答	153	17.0%
合 計	900	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	15 5.9%	11 5.7%	12 8.1%	10 7.1%	10 6.1%
2	32 12.6%	14 7.3%	20 13.4%	17 12.1%	19 11.7%
3	39 15.4%	28 14.5%	25 16.8%	13 9.2%	19 11.7%
4	11 4.3%	11 5.7%	5 3.4%	5 3.5%	14 8.6%
5	42 16.5%	40 20.7%	29 19.5%	21 14.9%	28 17.2%
6	9 3.5%	5 2.6%	1 0.7%	4 2.8%	3 1.8%
7	1 0.4%	5 2.6%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.6%
8	4 1.6%	2 1.0%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.2%
9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10	49 19.3%	57 29.5%	35 23.5%	42 29.8%	35 21.5%
11	52 20.5%	20 10.4%	22 14.8%	27 19.1%	32 19.6%
合 計	254 100%	193 100%	149 100%	141 100%	163 100%

問9 日常に相談している相手・機関はどのような人か（あてはまるもの全て）



〔20. その他〕の回答

・同期の民生委員・児童委員 ・同僚の民生委員・児童委員 ・老人会 ・管理組合

・町内のことで本当に困ったときには相談する相手がない

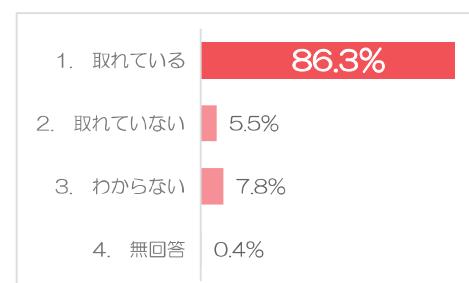
項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	209	57.4%	194	65.8%	122	60.1%	118	51.3%	137	57.3%
2	275	75.5%	213	72.2%	129	63.5%	130	56.5%	161	67.4%
3	118	32.4%	74	25.1%	64	31.5%	72	31.3%	97	40.6%
4	61	16.8%	37	12.5%	13	6.4%	25	10.9%	32	13.4%
5	35	9.6%	56	19.0%	33	16.3%	37	16.1%	36	15.1%
6	31	8.5%	25	8.5%	17	8.4%	29	12.6%	24	10.0%
7	54	14.8%	58	19.7%	43	21.2%	47	20.4%	45	18.8%
8	225	61.8%	171	58.0%	110	54.2%	135	58.7%	140	58.6%
9	11	3.0%	3	1.0%	4	2.0%	12	5.2%	8	3.3%
10	40	11.0%	25	8.5%	19	9.4%	22	9.6%	25	10.5%
11	17	4.7%	17	5.8%	13	6.4%	13	5.7%	14	5.9%
12	24	6.6%	20	6.8%	14	6.9%	21	9.1%	17	7.1%

13	22	6.0%	18	6.1%	9	4.4%	11	4.8%	13	5.4%
14	2	0.5%	4	1.4%	4	2.0%	5	2.2%	0	0.0%
15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%
16	13	3.6%	11	3.7%	4	2.0%	7	3.0%	9	3.8%
17	199	54.7%	155	52.5%	103	50.7%	131	57.0%	102	42.7%
18	1	0.3%	1	0.3%	1	0.5%	3	1.3%	11	4.6%
19	0	0.0%	1	0.3%	1	0.5%	2	0.9%	2	0.8%
20	7	1.9%	2	0.7%	3	1.5%	6	2.6%	4	1.7%
合 計	1,344	—	1,085	—	706	—	827	—	878	—

住まいの町内のことについて

問10 自治会との連携はとれているか

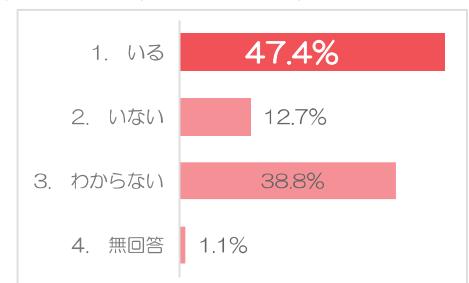
項目	回答数	割合
1. 取れている	1,149	86.3%
2. 取れていない	73	5.5%
3. わからない	104	7.8%
4. 無回答	5	0.4%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区	
1	324	89.0%	252	85.4%	177	87.2%
2	19	5.2%	21	7.1%	11	5.4%
3	18	4.9%	21	7.1%	15	7.4%
4	3	0.8%	1	0.3%	0	0.0%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%

問11 住まいの地域において福祉的な活動に取り組んでいる方や団体はいるか（自治会以外で）

項目	回答数	割合
1. いる	631	47.4%
2. いない	169	12.7%
3. わからない	517	38.8%
4. 無回答	14	1.1%
合 計	1,331	100%



項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	179	49.2%	135	45.8%	87	42.9%	110	47.8%	120	50.2%
2	34	9.3%	49	16.6%	31	15.3%	29	12.6%	26	10.9%
3	147	40.4%	107	36.3%	81	39.9%	90	39.1%	92	38.5%
4	4	1.1%	4	1.4%	4	2.0%	1	0.4%	1	0.4%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問12 住まいの地域では地域住民同士による支え合いが推進されていると思うか



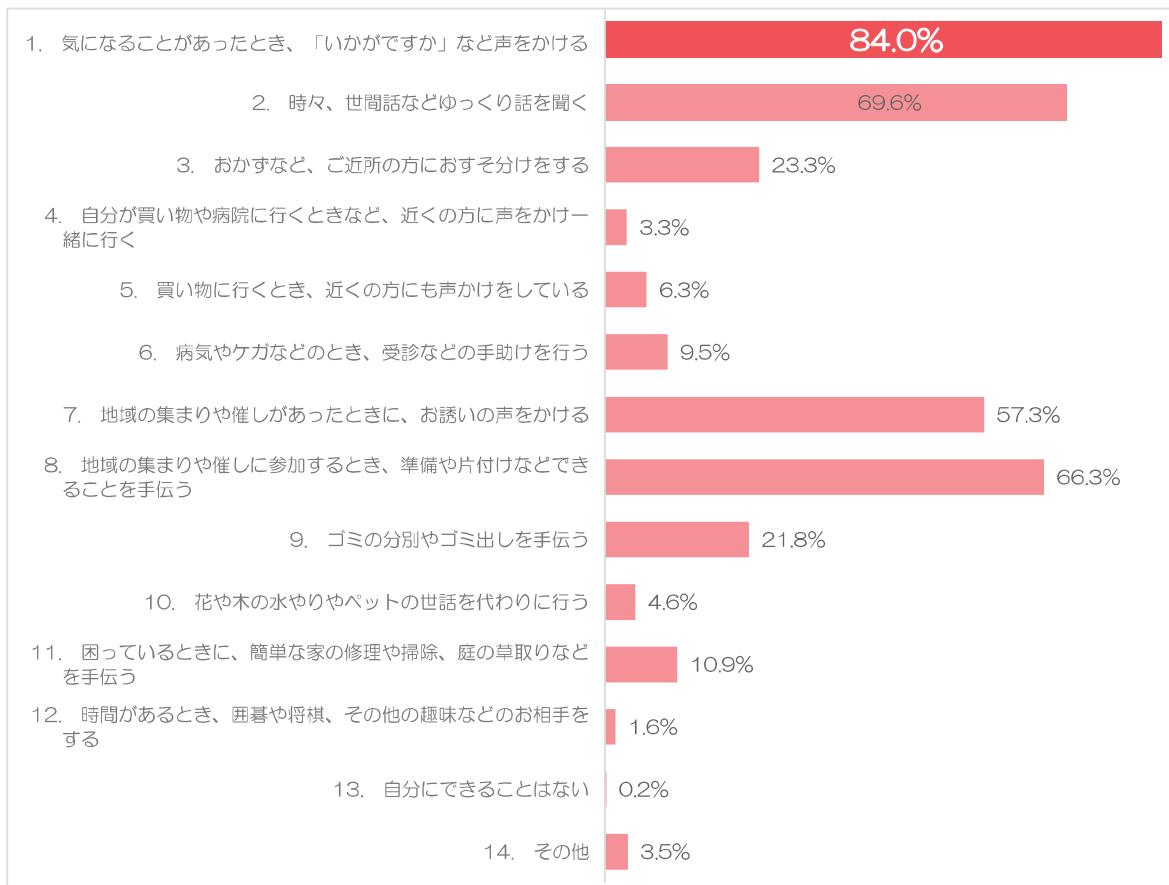
項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	265	72.8%	212	71.9%	140	69.0%	158	68.7%	167	69.9%
2	33	9.1%	32	10.8%	22	10.8%	29	12.6%	24	10.0%
3	63	17.3%	49	16.6%	39	19.2%	40	17.4%	48	20.1%
4	3	0.8%	2	0.7%	2	1.0%	3	1.3%	0	0.0%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問13 近所の方などに行っている身近な活動はあるか（あてはまるもの全て）

項 目	回答数	割合
1. 気になることがあったとき、「いかがですか」など声をかける	1,118	84.0%
2. 時々、世間話などゆっくり話を聞く	927	69.6%
3. おかずなど、ご近所の方におすそ分けをする	310	23.3%
4. 自分が買い物物や病院に行くときなど、近くの方に声をかけ一緒に行く	44	3.3%
5. 買い物に行くとき、近くの方にも声かけをしている	84	6.3%
6. 病気やケガなどのとき、受診などの手助けを行う	126	9.5%
7. 地域の集まりや催しがあったときに、お誘いの声をかける	762	57.3%
8. 地域の集まりや催しに参加するとき、準備や片付けなどできることを手伝う	883	66.3%
9. ゴミの分別やゴミ出しを手伝う	290	21.8%
10. 花や木の水やりやペットの世話を代わりに行う	61	4.6%
11. 困っているときに、簡単な家の修理や掃除、庭の草取りなどを手伝う	145	10.9%
12. 時間があるとき、囲碁や将棋、その他の趣味などのお相手をする	21	1.6%
13. 自分にできることはない	3	0.2%
14. その他	46	3.5%
合 計	4,820	—

[14. その他] の回答

- ・外からの見守り（夜間の電灯確認、洗濯物や庭の様子、空き地の草取りをしながらなど）
- ・電話での傾聴
- ・登下校の見守りや声かけ
- ・散歩時の声かけ
- ・移動スーパーの声かけ
- ・台風時の手助け
- ・ラジオ体操
- ・公園の清掃活動
- ・道端の掃除や草取り
- ・ゴミステーションの管理（片付け）
- ・社協だよりの配布
- ・「命のバトン」の活用



項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	305	83.8%	248	84.1%	161	79.3%	202	87.8%	202	84.5%
2	244	67.0%	196	66.4%	146	71.9%	174	75.7%	167	69.9%
3	72	19.8%	85	28.8%	45	22.2%	58	25.2%	50	20.9%
4	10	2.7%	11	3.7%	6	3.0%	8	3.5%	9	3.8%
5	18	4.9%	25	8.5%	11	5.4%	13	5.7%	17	7.1%
6	28	7.7%	31	10.5%	17	8.4%	20	8.7%	30	12.6%
7	234	64.3%	182	61.7%	107	52.7%	114	49.6%	125	52.3%
8	245	67.3%	216	73.2%	123	60.6%	147	63.9%	152	63.6%
9	103	28.3%	69	23.4%	35	17.2%	38	16.5%	45	18.8%
10	21	5.8%	14	4.7%	11	5.4%	8	3.5%	7	2.9%
11	34	9.3%	46	15.6%	18	8.9%	20	8.7%	27	11.3%
12	1	0.3%	5	1.7%	3	1.5%	6	2.6%	6	2.5%
13	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
14	13	3.6%	14	4.7%	5	2.5%	10	4.3%	4	1.7%
合 計	1,328	—	1,143	—	688	—	818	—	843	—

問14 住まいの地域で「助け合いや支え合い」の仕組みや似たような取り組みがあるか（自由記述）

〔特徴的な取り組み〕

- ・自宅を開放して地域の人たちに憩いの場を提供している人がいる
- ・地域の民生委員・児童委員とボランティアが協力して、新型コロナウイルス感染予防のため外出を自粛している住民に脳トレや手芸のプリント等を毎月提供している
- ・自治会とともに60歳を過ぎたシニア世代を中心に、地域の高齢者の困りごとなどちょっとしたことを手伝うような団体を作ろうと計画している
- ・マンション内に老人会のような組織を結成している
- ・マンション内にお助け隊を結成した
- ・町内のスーパーで高齢者がおしゃべりタイムを取り、悩みごとの相談や情報交換を行っている
- ・元店舗を活用して新鮮な野菜や果物を中心とする朝市を開かれている（毎週日曜日の早朝）
- ・一人暮らしの人と近所の人でペアを組みお互い文書を取り交わして、日頃の見守りや災害時の声かけなど支援してもらっている

民生委員・児童委員活動の中での悩みや苦労について

問15 民生委員・児童委員の活動は負担に感じられるか

項目	回答数	割合
1. とても負担に感じる	62	4.7%
2. やや負担に感じる	574	43.1%
3. それほど負担に感じない	497	37.3%
4. 負担に感じない	146	11.0%
5. わからない	36	2.7%
6. 無回答	16	1.2%
合 計	1,331	100%



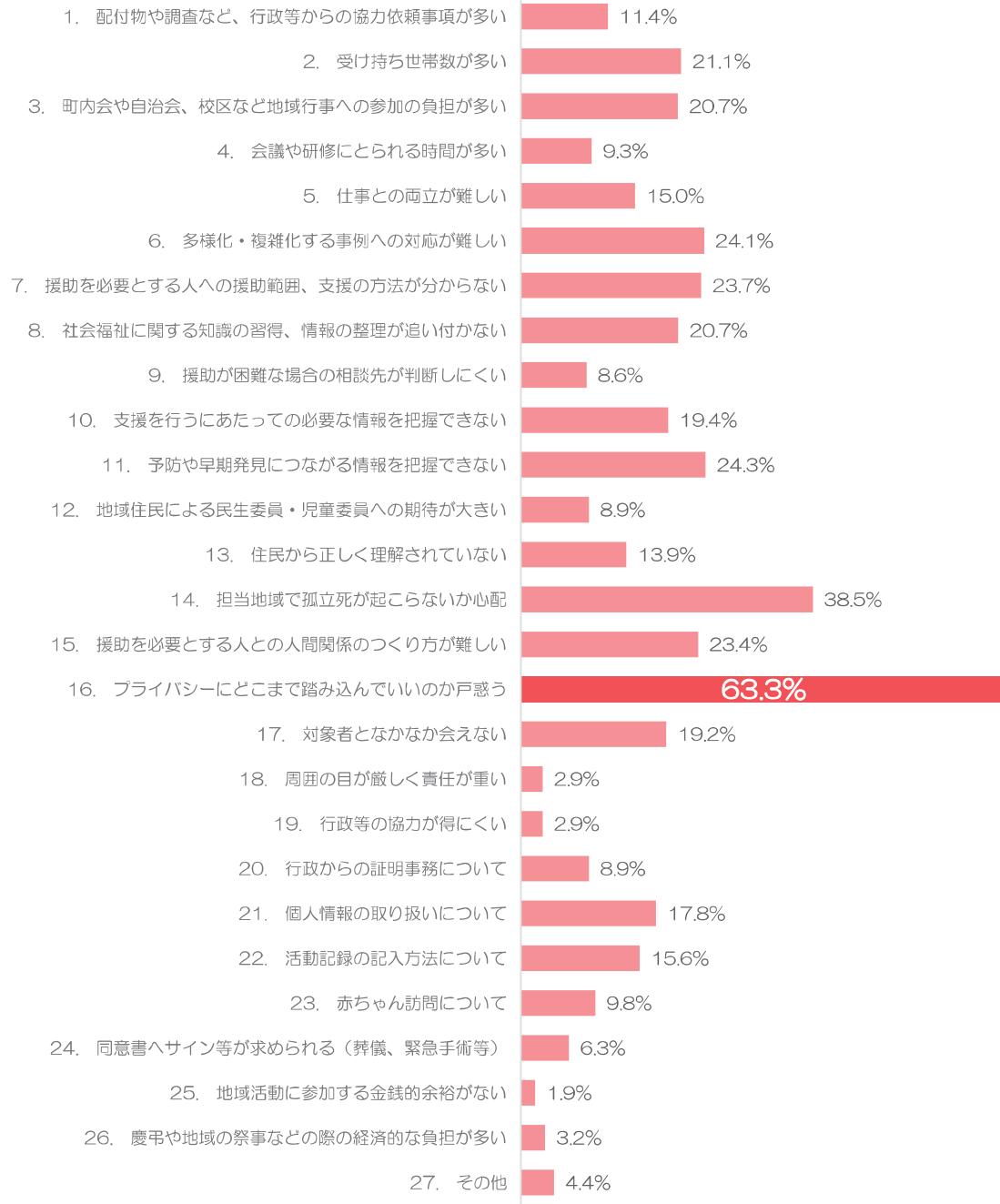
項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	16	4.4%	18	6.1%	7	3.4%	10	4.3%	11	4.6%
2	167	45.9%	111	37.6%	91	44.8%	103	44.8%	102	42.7%
3	130	35.7%	111	37.6%	77	37.9%	85	37.0%	94	39.3%
4	30	8.2%	43	14.6%	23	11.3%	28	12.2%	22	9.2%
5	14	3.8%	8	2.7%	3	1.5%	3	1.3%	8	3.3%
6	7	1.9%	4	1.4%	2	1.0%	1	0.4%	2	0.8%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問16 民生委員・児童委員の活動の悩みや苦労はどのようなものか（あてはまるもの全て）

項目	回答数	割合
1. 配付物や調査など、行政等からの協力依頼事項が多い	152	11.4%
2. 受け持ち世帯数が多い	281	21.1%
3. 町内会や自治会、校区など地域行事への参加の負担が多い	275	20.7%
4. 会議や研修にとられる時間が多い	124	9.3%
5. 仕事との両立が難しい	200	15.0%
6. 多様化・複雑化する事例への対応が難しい	321	24.1%
7. 援助を必要とする人への援助範囲、支援の方法が分からない	316	23.7%
8. 社会福祉に関する知識の習得、情報の整理が追いつかない	276	20.7%
9. 援助が困難な場合の相談先が判断しにくい	115	8.6%
10. 支援を行うにあたっての必要な情報を把握できない	258	19.4%
11. 予防や早期発見につながる情報を把握できない	324	24.3%
12. 地域住民による民生委員・児童委員への期待が大きい	119	8.9%
13. 住民から正しく理解されていない	185	13.9%
14. 担当地域で孤立死が起こらないか心配	512	38.5%
15. 援助を必要とする人との人間関係のつくり方が難しい	311	23.4%
16. プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	843	63.3%
17. 対象者となかなか会えない	255	19.2%
18. 周囲の目が厳しく責任が重い	38	2.9%
19. 行政等の協力が得にくい	38	2.9%
20. 行政からの証明事務について	119	8.9%
21. 個人情報の取り扱いについて	237	17.8%
22. 活動記録の記入方法について	208	15.6%
23. 赤ちゃん訪問について	130	9.8%
24. 同意書へサイン等が求められる（葬儀、緊急手術等）	84	6.3%
25. 地域活動に参加する金銭的余裕がない	25	1.9%
26. 慶弔や地域の祭事などの際の経済的な負担が多い	42	3.2%
27. その他	58	4.4%
合　　計	5,846	—

〔27. その他〕の回答

- ・訪問が苦手 　・あいさつ運動が苦手 　・サロン運営 　・会計業務が負担 　・夜の会議が負担
- ・慶弔が多く時間を取られる 　・3年の任期が長い 　・後任選びが大変 　・生活保護世帯の対応がむずかしい
- ・高齢者は高齢者名簿があるが子どもの場合情報が少ない 　・ネットワーク会議の対応や進行
- ・自治会との連携が取れていない



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	53 14.6%	28 9.5%	19 9.4%	28 12.2%	24 10.0%
2	78 21.4%	66 22.4%	30 14.8%	47 20.4%	60 25.1%
3	81 22.3%	63 21.4%	34 16.7%	46 20.0%	51 21.3%
4	30 8.2%	23 7.8%	20 9.9%	26 11.3%	25 10.5%
5	52 14.3%	41 13.9%	35 17.2%	35 15.2%	37 15.5%
6	105 28.8%	64 21.7%	40 19.7%	54 23.5%	58 24.3%
7	88 24.2%	71 24.1%	50 24.6%	60 26.1%	47 19.7%
8	82 22.5%	56 19.0%	37 18.2%	41 17.8%	60 25.1%
9	23 6.3%	24 8.1%	20 9.9%	20 8.7%	28 11.7%

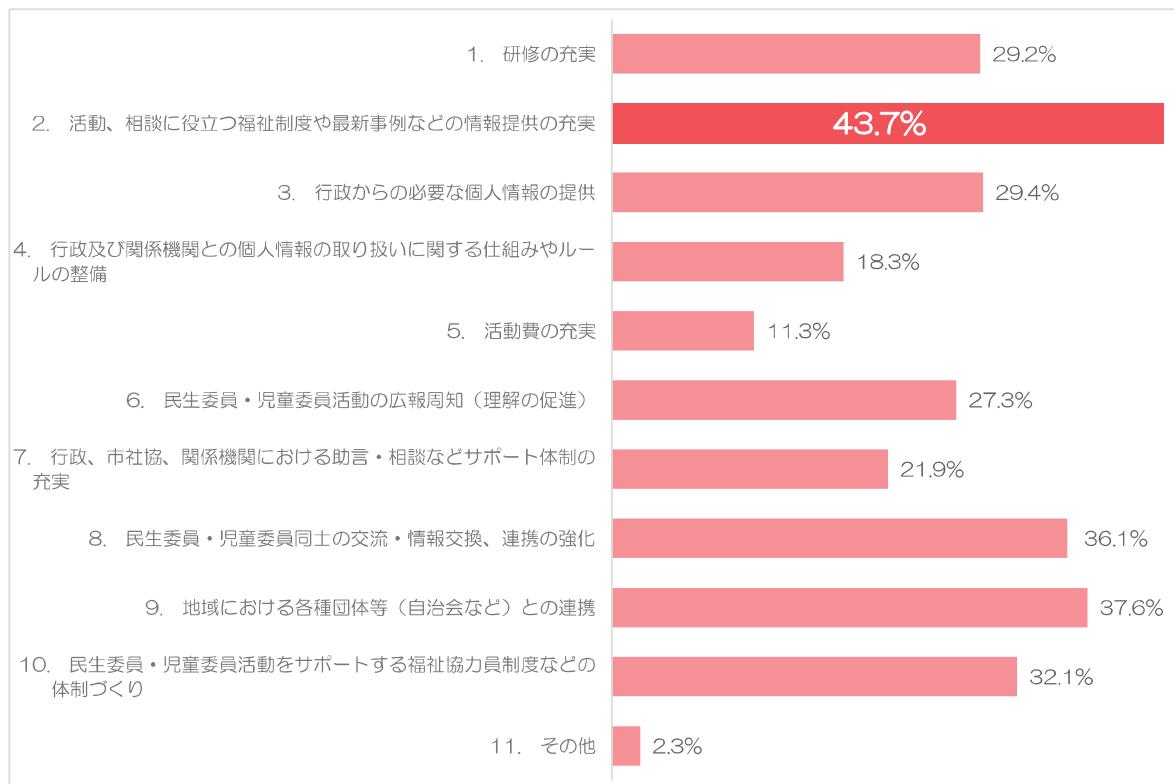
10	69	19.0%	63	21.4%	37	18.2%	43	18.7%	46	19.2%
11	102	28.0%	72	24.4%	39	19.2%	50	21.7%	61	25.5%
12	34	9.3%	36	12.2%	14	6.9%	12	5.2%	23	9.6%
13	45	12.4%	42	14.2%	31	15.3%	32	13.9%	35	14.6%
14	167	45.9%	107	36.3%	75	36.9%	81	35.2%	82	34.3%
15	91	25.0%	74	25.1%	40	19.7%	48	20.9%	58	24.3%
16	237	65.1%	185	62.7%	126	62.1%	147	63.9%	148	61.9%
17	71	19.5%	58	19.7%	31	15.3%	43	18.7%	52	21.8%
18	18	4.9%	7	2.4%	5	2.5%	5	2.2%	3	1.3%
19	10	2.7%	11	3.7%	5	2.5%	3	1.3%	9	3.8%
20	38	10.4%	35	11.9%	7	3.4%	17	7.4%	22	9.2%
21	70	19.2%	54	18.3%	36	17.7%	37	16.1%	40	16.7%
22	52	14.3%	39	13.2%	28	13.8%	39	17.0%	50	20.9%
23	31	8.5%	28	9.5%	15	7.4%	28	12.2%	28	11.7%
24	42	11.5%	20	6.8%	6	3.0%	9	3.9%	7	2.9%
25	6	1.6%	7	2.4%	1	0.5%	8	3.5%	3	1.3%
26	8	2.2%	10	3.4%	5	2.5%	7	3.0%	12	5.0%
27	19	5.2%	15	5.1%	2	1.0%	8	3.5%	14	5.9%
合 計	1,702	—	1,299	—	788	—	974	—	1,083	—

問17 活動しやすい環境づくりに向けて必要と思われる取り組みは何か（あてはまるもの全て）

項 目	回答数	割合
1. 研修の充実	388	29.2%
2. 活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実	581	43.7%
3. 行政からの必要な個人情報の提供	391	29.4%
4. 行政及び関係機関との個人情報の取り扱いに関する仕組みやルールの整備	244	18.3%
5. 活動費の充実	150	11.3%
6. 民生委員・児童委員活動の広報周知（理解の促進）	363	27.3%
7. 行政、市社協、関係機関における助言・相談などサポート体制の充実	291	21.9%
8. 民生委員・児童委員同士の交流・情報交換、連携の強化	480	36.1%
9. 地域における各種団体等（自治会など）との連携	501	37.6%
10. 民生委員・児童委員活動をサポートする福祉協力員制度などの体制づくり	427	32.1%
11. その他	30	2.3%
合 計	3,846	—

〔11. その他〕の回答

- ・活動のスリム化 　・行政との信頼関係の構築 　・仕事との両立が可能となる休暇制度の導入
- ・様式等のデータ化 　・PC、IT、Web等の基礎知識の習得 　・オンラインによる情報のシェア
- ・民生委員・児童委員の増員 　・民生委員と児童委員の分離

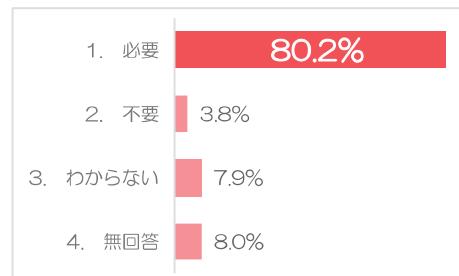


項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	109 29.9%	76 25.8%	42 20.7%	70 30.4%	91 38.1%
2	184 50.5%	117 39.7%	79 38.9%	106 46.1%	95 39.7%
3	117 32.1%	70 23.7%	63 31.0%	62 27.0%	79 33.1%
4	68 18.7%	51 17.3%	33 16.3%	56 24.3%	36 15.1%
5	39 10.7%	34 11.5%	18 8.9%	28 12.2%	31 13.0%
6	94 25.8%	71 24.1%	55 27.1%	73 31.7%	70 29.3%
7	83 22.8%	58 19.7%	42 20.7%	59 25.7%	49 20.5%
8	122 33.5%	106 35.9%	80 39.4%	82 35.7%	90 37.7%
9	120 33.0%	110 37.3%	85 41.9%	93 40.4%	93 38.9%
10	111 30.5%	107 36.3%	47 23.2%	86 37.4%	76 31.8%
11	8 2.2%	9 3.1%	2 1.0%	4 1.7%	7 2.9%
合 計	1,055 —	809 —	546 —	719 —	717 —

名簿について（地区担当民生委員・児童委員のみ回答）

問18 市から提供される高齢者名簿（65歳以上）は必要か

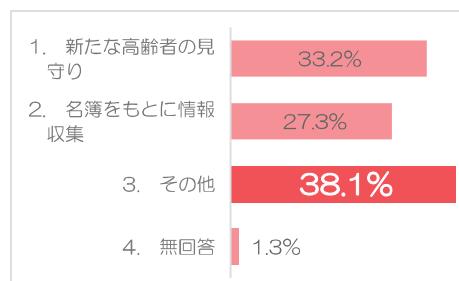
項目	回答数	割合
1. 必要	1,068	80.2%
2. 不要	51	3.8%
3. わからない	105	7.9%
4. 無回答	107	8.0%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	298 81.9%	236 80.0%	163 80.3%	181 78.7%	190 79.5%
2	11 3.0%	17 5.8%	7 3.4%	9 3.9%	7 2.9%
3	24 6.6%	21 7.1%	18 8.9%	19 8.3%	23 9.6%
4	31 8.5%	21 7.1%	15 7.4%	21 9.1%	19 7.9%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問18-2 ※（問18で必要と回答した方）高齢者名簿をどのように活用しているか

項目	回答数	割合
1. 新たな高齢者の見守り	355	33.2%
2. 名簿をもとに情報収集	292	27.3%
3. その他	407	38.1%
4. 無回答	14	1.3%
合 計	1,068	100%

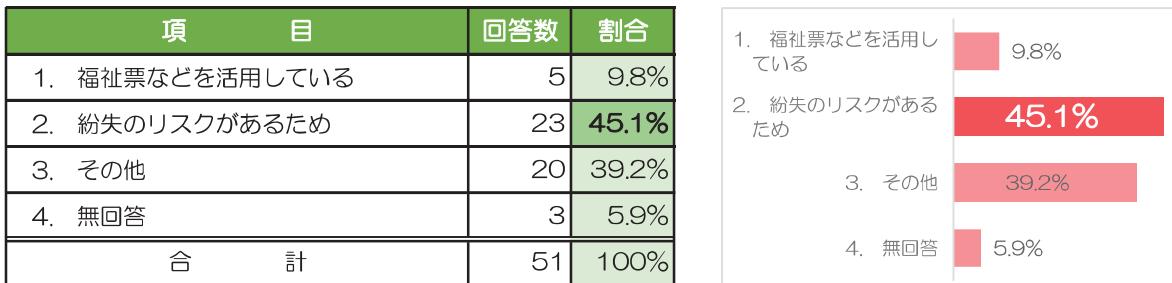


〔3. その他〕の回答

- ・人数の把握に活用

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	97 32.6%	70 29.7%	69 42.3%	65 35.9%	54 28.4%
2	80 26.8%	73 30.9%	49 30.1%	43 23.8%	47 24.7%
3	119 39.9%	89 37.7%	39 23.9%	72 39.8%	88 46.3%
4	2 0.7%	4 1.7%	6 3.7%	1 0.6%	1 0.5%
合 計	298 100%	236 100%	163 100%	181 100%	190 100%

問18-3 ※（問18で不要と回答した方）それはどのような理由からか



[3. その他] の回答

- ・大体把握できている
- ・自治会から名簿を提供されている
- ・相談があってから対応できればよい
- ・名簿に記載されている方をすべて把握するのは困難
- ・単位民児協会長が所持し必要な時に閲覧できればよい
- ・毎年は不要
- ・一年中所持する必要はない

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	2 18.2%	0 0.0%	1 14.3%	1 11.1%	1 14.3%
2	7 63.6%	9 52.9%	2 28.6%	4 44.4%	1 14.3%
3	1 9.1%	8 47.1%	3 42.9%	3 33.3%	5 71.4%
4	1 9.1%	0 0.0%	1 14.3%	1 11.1%	0 0.0%
合 計	11 100%	17 100%	7 100%	9 100%	7 100%

問19 市から提供される高齢者名簿の配付範囲について（希望するもの1つ）



[4. その他] の回答

- ・自治会長や区長への提供
- ・民間企業に託す
- ・校区全員の名簿の提供
- ・電子データによる提供

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	298 81.9%	240 81.4%	165 81.3%	182 79.1%	186 77.8%
2	14 3.8%	13 4.4%	8 3.9%	12 5.2%	17 7.1%
3	11 3.0%	11 3.7%	3 1.5%	9 3.9%	7 2.9%
4	4 1.1%	5 1.7%	2 1.0%	4 1.7%	4 1.7%
5	37 10.2%	26 8.8%	25 12.3%	23 10.0%	25 10.5%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問20 市から提供される災害時要援護者登録者名簿をどのように活用しているか（あてはまるもの全て）



[6. その他] の回答

- 未登録者で登録の必要性を感じる人がいる • 警察や消防と情報共有できないか
- 自主防災クラブがすべきことではないか

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区	
1	182	50.0%	136	46.1%	100	49.3%
2	130	35.7%	101	34.2%	51	25.1%
3	136	37.4%	106	35.9%	49	24.1%
4	42	11.5%	36	12.2%	12	5.9%
5	75	20.6%	68	23.1%	65	32.0%
6	12	3.3%	20	6.8%	8	3.9%
合 計	577	—	467	—	285	—

問21 災害時要援護者登録者名簿をもとに自治会長や地域の支援者と災害時に備えた話し合いをしているか



[4. その他] の回答

- 民生委員・児童委員が個別に作成した名簿で話し合いをしている
- 話し合いはしているが体制（備え）の確立までできていない
- 災害の恐れがある場合は事前に自治会長と連絡を取り合っている
- 以前は行っていたが現在はできていない • 情報共有のみ
- 自治会と老人会で取り組んでおり民生委員・児童委員は入っていない
- 民児協内で自分たちがすべきことを話し合っている
- 自治会にリーダーシップを取ってほしい • 自治会、自主防災クラブ、消防と連携を図りたい
- 自治会、自主防災クラブで検討すべき

項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	100	27.5%	63	21.4%	37	18.2%	63	27.4%	42	17.6%
2	42	11.5%	28	9.5%	20	9.9%	35	15.2%	37	15.5%
3	175	48.1%	158	53.6%	114	56.2%	100	43.5%	123	51.5%
4	9	2.5%	15	5.1%	12	5.9%	6	2.6%	16	6.7%
5	38	10.4%	31	10.5%	20	9.9%	26	11.3%	21	8.8%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

民生委員・児童委員の年齢要件について

問22 民生委員・児童委員の現行の年齢要件（75歳未満）についてどう思うか



〔4. その他〕の回答

- ・75歳の誕生日満了 ・75歳定年を誕生月でなく年度で判断すべき ・原則75歳未満としそれ以上は本人判断
- ・現行のままとし75歳を過ぎても活動ができる人は相談役等で残ってもらう ・周囲の意見と本人次第
- ・活動状況を配慮し会長の判断に委ねる ・個人差があるため年齢ではなく行動できるかどうか
- ・特例を認めてほしい ・年齢制限は不要

項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	271	74.5%	217	73.6%	157	77.3%	169	73.5%	183	76.6%
2	30	8.2%	33	11.2%	23	11.3%	22	9.6%	21	8.8%
3	36	9.9%	20	6.8%	13	6.4%	21	9.1%	14	5.9%
4	20	5.5%	18	6.1%	7	3.4%	12	5.2%	14	5.9%
5	7	1.9%	7	2.4%	3	1.5%	6	2.6%	7	2.9%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%	230	100%	239	100%

問22-2 ※（問22で2. 3. と回答した人）どのような年齢要件を考えるか

〔2. 引き上げたほうがいい〕という意見

- ・再任の場合は75歳以上でも可 ・78歳 ・80歳 ・地域からの要望があり本人も了承すれば引き上げ可
- ・なり手が少ない中やりたいという人を年齢要件で断るのはどうか ・単位民児協判断にしてほしい

〔3. 引き下げたほうがいい〕という意見

- ・60歳未満 ・65歳未満 ・70歳未満 ・70歳未満（特例75歳） ・73歳
- ・年齢が上がると緊急の対応がむずかしくなる ・同年齢や年下の人の見守りはむずかしい
- ・若い人に引き受けもらえる方法を考えなければならない
- ・慣れた人がいいが次世代に引き継げないのも問題

問23 主任児童委員の現行の年齢要件（65歳未満）についてどう思うか



〔4. その他〕の回答

- ・特例を認めてほしい
- ・個人差があるため年齢は関係ない
- ・年齢制限をする理由がわからない
- ・保育園や幼稚園を退職した人など経験者が就任してくれるといい

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	273 75.0%	211 71.5%	154 75.9%	172 74.8%	173 72.4%
2	46 12.6%	48 16.3%	22 10.8%	41 17.8%	30 12.6%
3	7 1.9%	7 2.4%	6 3.0%	1 0.4%	7 2.9%
4	19 5.2%	18 6.1%	8 3.9%	8 3.5%	13 5.4%
5	19 5.2%	11 3.7%	13 6.4%	8 3.5%	16 6.7%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問23-2 ※（問23で2. 3. と回答した方）どのような年齢要件を考えるか

〔2. 引き上げたほうがいい〕という意見

- ・原則65歳とし特例を設ける
- ・68歳
- ・68歳（民児協会長や自治会長の承認による）
- ・70歳
- ・70歳（再任のみ）
- ・75歳
- ・80歳
- ・適任者がいれば年齢制限は邪魔になる

〔3. 引き下げたほうがいい〕という意見

- ・子育てが少し落ち着いた年齢層（40代）が好ましい
- ・50歳以下
- ・55歳（年齢が上がると保護者の考えに共感しづらくなる）
- ・60歳
- ・若い母親に対応できる年齢がよい
- ・実際に子育てをしている世代のほうが意見交換ができ役立つ
- ・子育て世代に近いほうがよい（孫と子では違う）



定例会について

問24 単位民児協定例会には出席できているか

項目	回答数	割合
1. 出席できている	1,222	91.8%
2. 調整ができず欠席することもある	91	6.8%
3. 欠席することが多い	8	0.6%
4. その他	6	0.5%
5. 無回答	4	0.3%
合 計	1,331	100%



〔4. その他〕の回答

- ・仕事を調整しどうにか出席している
- ・現在は出席できているが今後むずかしいこともあると思う
- ・曜日を変えてほしい
- ・できる限り出席したいと思う
- ・フォローしてくれる人がいればと思う

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	340 93.4%	261 88.5%	192 94.6%	210 91.3%	219 91.6%
2	20 5.5%	29 9.8%	10 4.9%	16 7.0%	16 6.7%
3	2 0.5%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.9%	3 1.3%
4	1 0.3%	2 0.7%	1 0.5%	1 0.4%	1 0.4%
5	1 0.3%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問25 単位民児協定例会の内容は満足したものになっているか

項目	回答数	割合
1. 満足している	573	43.1%
2. ほぼ満足している	515	38.7%
3. どちらとも言えない	199	15.0%
4. やや不満がある	21	1.6%
5. 不満がある	7	0.5%
6. 無回答	16	1.2%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	158 43.4%	133 45.1%	96 47.3%	79 34.3%	107 44.8%
2	143 39.3%	108 36.6%	73 36.0%	95 41.3%	96 40.2%
3	54 14.8%	41 13.9%	32 15.8%	45 19.6%	27 11.3%
4	2 0.5%	8 2.7%	1 0.5%	6 2.6%	4 1.7%
5	3 0.8%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%
6	4 1.1%	3 1.0%	1 0.5%	3 1.3%	5 2.1%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問26 定例会でやってみたい、改善したいことなど思うことはあるか（自由記述）

〔やってみたいこと〕

- ・事例等を基にした情報交換や研修
- ・活動記録の記入方法に関する研修
- ・生活福祉資金等貸付に関する研修
- ・証明事務に関する研修
- ・ひろばやヒント集など資料の読み合わせ研修
- ・赤ちゃん訪問に関する研修
- ・子どもや子育てに関する研修
- ・介護保険制度に関する研修
- ・単位民児協主体の研修
- ・視察研修
- ・グループワークなど誰もが意見を出しやすい研修
- ・制度やサービスに関する勉強会
- ・ミニ勉強会（20分程度、年2～3回）
- ・近隣民児協や他民児協との情報交換（交流会）
- ・ささえりあとの交流
- ・専門家による話や助言
- ・施設訪問
- ・民生委員のリレー紹介
- ・各月町内ごとに発表の場を設ける
- ・活動内容報告（ひとり一回は発言できるように）
- ・他委員の活動への同行
- ・地域との関わりのなかでの悩みの共有
- ・町内行事に関する情報交換
- ・小グループでの情報交換
- ・日々の活動のなかで得られた地域の安全点検箇所の情報共有
- ・校区課題の整理と解決に向けた取り組みに関する話し合い
- ・課題解決のためのチームづくり
- ・仲間意識の創出
- ・部会の設置
- ・自治会長と民生委員・児童委員のつながりの強化
- ・不登校児童の実情に関する学校との情報の共有化
- ・新たに介護認定を受けたり施設へ入所した場合の情報共有
- ・年数回研修会として定例会を開催

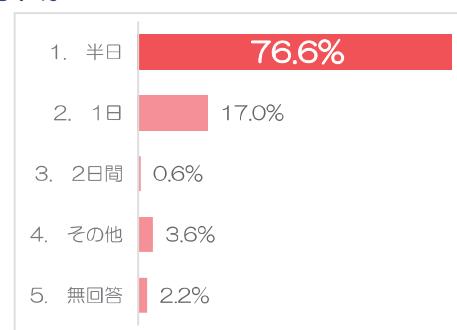
〔改善したいこと〕

- ・基本1時間以内にしてほしい（決定事項は資料周知とする）
- ・資料の簡略化
- ・経験年数の長い人たちが優位な立場にあり意見が言いにくい

研修について

問27 今後研修会を開催するにあたりどのような日程の研修が望ましいか

項目	回答数	割合
1. 半日	1,020	76.6%
2. 1日	226	17.0%
3. 2日間	8	0.6%
4. その他	48	3.6%
5. 無回答	29	2.2%
合 計	1,331	100%

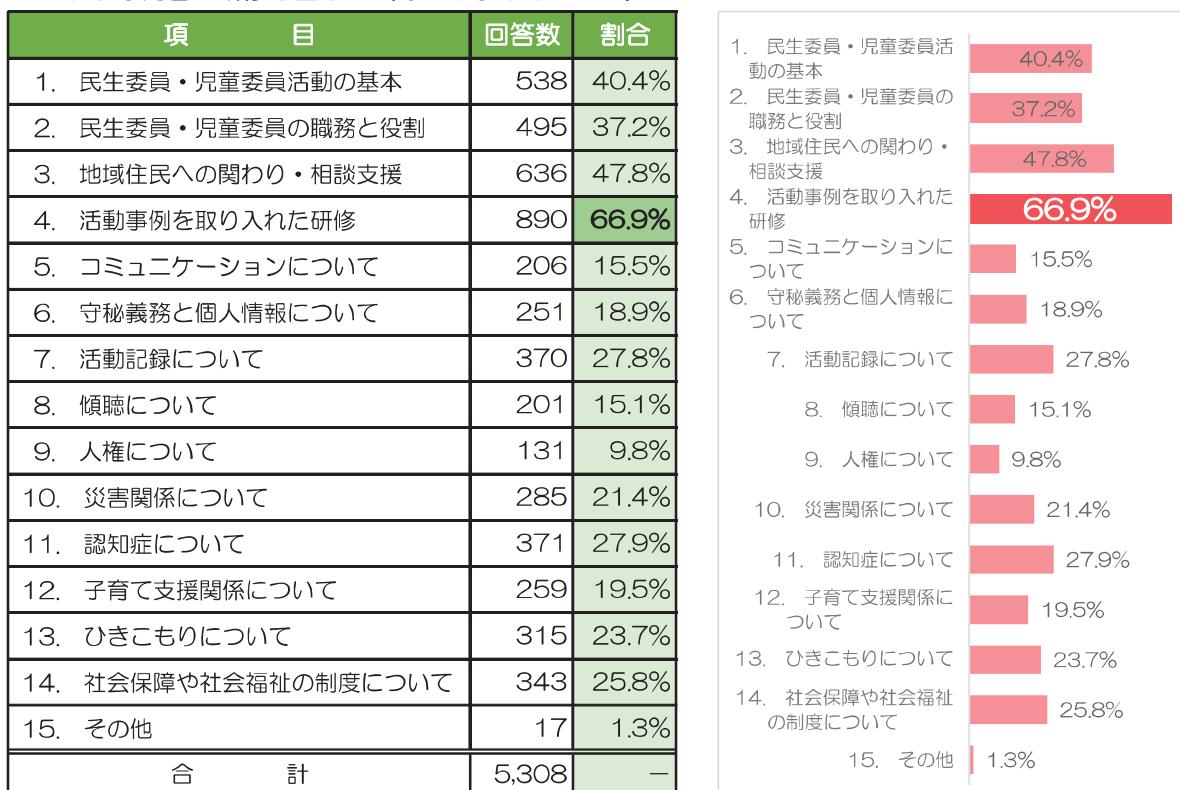


〔4. その他〕の回答

- ・1時間程度
- ・1～2時間程度
- ・2～3時間程度
- ・半日ずつ数日に分けての開催
- ・日曜日の開催
- ・平日と休日の複数日に分けての開催
- ・資料配付による研修
- ・オンライン研修
- ・仕事のため参加はむずかしい

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区	
1	288	79.1%	226	76.6%	149	73.4%
2	58	15.9%	48	16.3%	43	21.2%
3	3	0.8%	2	0.7%	0	0.0%
4	6	1.6%	13	4.4%	5	2.5%
5	9	2.5%	6	2.0%	6	3.0%
合 計	364	100%	295	100%	203	100%

問28 どのような内容の研修を望むか（あてはまるもの全て）



〔15. その他〕の回答

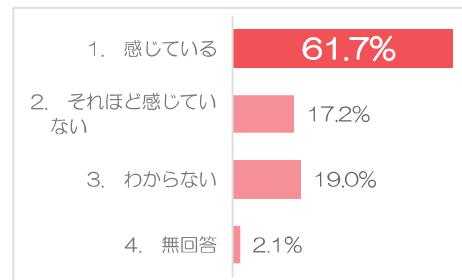
- ・大規模でなく小規模の研修（市全体でなく区単位など）
- ・ワークショップ形式の研修
- ・PC操作やオンライン研修に備えた研修
- ・マンション住人との関わり方に関する研修
- ・市の機関だけでの相談先を知りたい

項目	中央区		東 区		西 区		南 区		北 区	
1	149	40.9%	103	34.9%	71	35.0%	98	42.6%	117	49.0%
2	132	36.3%	106	35.9%	70	34.5%	89	38.7%	98	41.0%
3	165	45.3%	126	42.7%	85	41.9%	127	55.2%	133	55.6%
4	244	67.0%	201	68.1%	135	66.5%	157	68.3%	153	64.0%
5	46	12.6%	45	15.3%	31	15.3%	41	17.8%	43	18.0%
6	60	16.5%	47	15.9%	39	19.2%	51	22.2%	54	22.6%
7	92	25.3%	73	24.7%	64	31.5%	69	30.0%	72	30.1%
8	50	13.7%	50	16.9%	22	10.8%	34	14.8%	45	18.8%
9	30	8.2%	27	9.2%	23	11.3%	25	10.9%	26	10.9%
10	72	19.8%	64	21.7%	50	24.6%	55	23.9%	44	18.4%
11	106	29.1%	80	27.1%	55	27.1%	66	28.7%	64	26.8%
12	78	21.4%	60	20.3%	27	13.3%	47	20.4%	47	19.7%
13	94	25.8%	70	23.7%	40	19.7%	59	25.7%	52	21.8%
14	99	27.2%	82	27.8%	38	18.7%	58	25.2%	66	27.6%
15	4	1.1%	7	2.4%	2	1.0%	1	0.4%	3	1.3%
合計	1,421	—	1,141	—	752	—	977	—	1,017	—

民生委員・児童委員の活動について

問29 民生委員・児童委員の活動にやりがいを感じられるか

項目	回答数	割合
1. 感じている	821	61.7%
2. それほど感じていない	229	17.2%
3. わからない	253	19.0%
4. 無回答	28	2.1%
合 計	1,331	100%



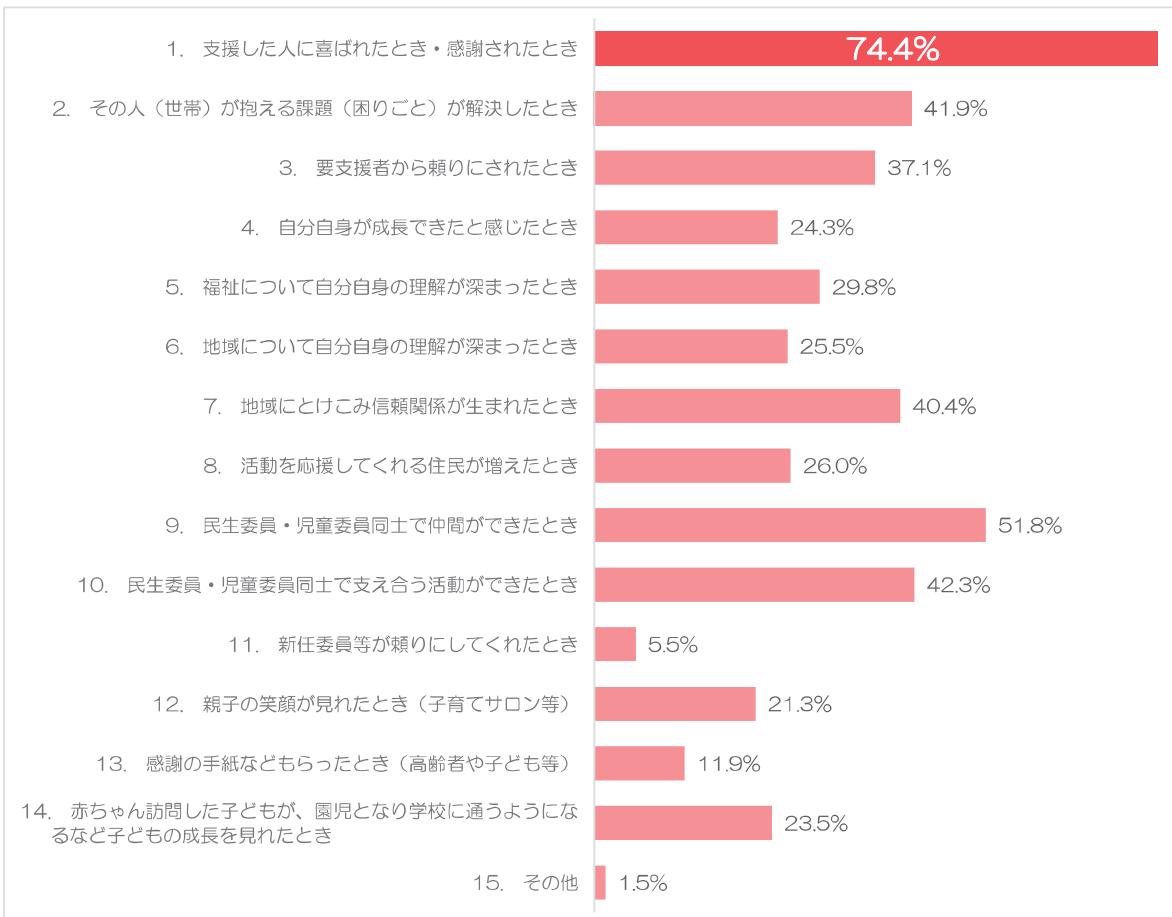
項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	221 60.7%	185 62.7%	116 57.1%	149 64.8%	150 62.8%
2	57 15.7%	48 16.3%	46 22.7%	39 17.0%	39 16.3%
3	78 21.4%	57 19.3%	37 18.2%	38 16.5%	43 18.0%
4	8 2.2%	5 1.7%	4 2.0%	4 1.7%	7 2.9%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問30 やりがいや達成感を感じるのはどんなときか（あてはまるもの全て）

項目	回答数	割合
1. 支援した人に喜ばれたとき・感謝されたとき	990	74.4%
2. その人（世帯）が抱える課題（困りごと）が解決したとき	558	41.9%
3. 要支援者から頼りにされたとき	494	37.1%
4. 自分自身が成長できたと感じたとき	323	24.3%
5. 福祉について自分自身の理解が深まったとき	397	29.8%
6. 地域について自分自身の理解が深まったとき	340	25.5%
7. 地域にとけこみ信頼関係が生まれたとき	538	40.4%
8. 活動を応援してくれる住民が増えたとき	346	26.0%
9. 民生委員・児童委員同士で仲間ができたとき	689	51.8%
10. 民生委員・児童委員同士で支え合う活動ができたとき	563	42.3%
11. 新任委員等が頼りにしてくれたとき	73	5.5%
12. 親子の笑顔が見れたとき（子育てサロン等）	284	21.3%
13. 感謝の手紙などもらったとき（高齢者や子ども等）	159	11.9%
14. 赤ちゃん訪問した子どもが、園児となり学校に通うようになるなど子どもの成長を見れたとき	313	23.5%
15. その他	20	1.5%
合 計	6,087	—

[15. その他] の回答

- 近所に顔なじみが増え地元から認知されていると感じたとき • 相談され頼られていると感じたとき
- 提案が受け入れられたとき • 関係機関との連携がうまくいったとき
- 支援した方から声をかけてもらったとき

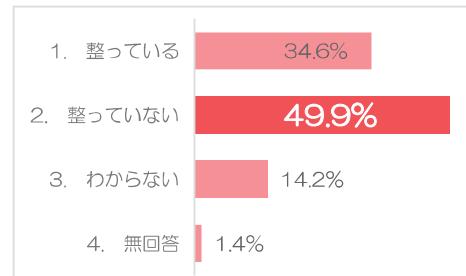


項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	259 71.2%	220 74.6%	158 77.8%	172 74.8%	181 75.7%
2	160 44.0%	115 39.0%	87 42.9%	98 42.6%	98 41.0%
3	117 32.1%	105 35.6%	83 40.9%	91 39.6%	98 41.0%
4	78 21.4%	71 24.1%	51 25.1%	59 25.7%	64 26.8%
5	99 27.2%	70 23.7%	67 33.0%	85 37.0%	76 31.8%
6	94 25.8%	73 24.7%	49 24.1%	68 29.6%	56 23.4%
7	153 42.0%	127 43.1%	79 38.9%	93 40.4%	86 36.0%
8	99 27.2%	76 25.8%	48 23.6%	58 25.2%	65 27.2%
9	186 51.1%	151 51.2%	104 51.2%	132 57.4%	116 48.5%
10	155 42.6%	144 48.8%	76 37.4%	97 42.2%	91 38.1%
11	23 6.3%	16 5.4%	6 3.0%	16 7.0%	12 5.0%
12	90 24.7%	77 26.1%	26 12.8%	38 16.5%	53 22.2%
13	49 13.5%	37 12.5%	25 12.3%	19 8.3%	29 12.1%
14	102 28.0%	73 24.7%	34 16.7%	48 20.9%	56 23.4%
15	8 2.2%	4 1.4%	2 1.0%	5 2.2%	1 0.4%
合 計	1,672	—	1,359	—	895
					—
					1,079
					—
					1,082
					—

新型コロナウイルス関係について

問31 Web会議等に参加するためのインターネット環境は整っているか

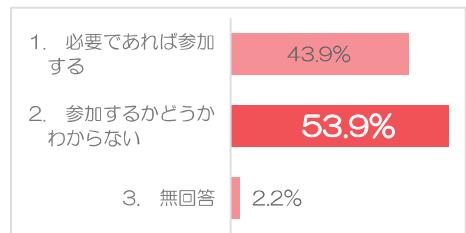
項目	回答数	割合
1. 整っている	460	34.6%
2. 整っていない	664	49.9%
3. わからない	189	14.2%
4. 無回答	18	1.4%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	138 37.9%	102 34.6%	63 31.0%	80 34.8%	77 32.2%
2	174 47.8%	153 51.9%	108 53.2%	108 47.0%	121 50.6%
3	49 13.5%	33 11.2%	30 14.8%	40 17.4%	37 15.5%
4	3 0.8%	7 2.4%	2 1.0%	2 0.9%	4 1.7%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問32 今後Web会議等がある場合に参加するか

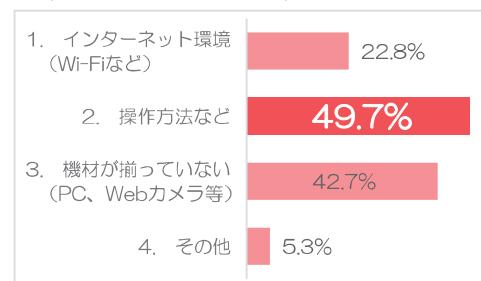
項目	回答数	割合
1. 必要であれば参加する	584	43.9%
2. 参加するかどうかわからない	718	53.9%
3. 無回答	29	2.2%
合 計	1,331	100%



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	160 44.0%	123 41.7%	80 39.4%	101 43.9%	120 50.2%
2	199 54.7%	164 55.6%	116 57.1%	124 53.9%	115 48.1%
3	5 1.4%	8 2.7%	7 3.4%	5 2.2%	4 1.7%
合 計	364 100%	295 100%	203 100%	230 100%	239 100%

問33 参加することになった場合問題になると考えられることは何か（あてはまるもの全て）

項目	回答数	割合
1. インターネット環境 (Wi-Fiなど)	304	22.8%
2. 操作方法など	662	49.7%
3. 機材が揃っていない (PC、Webカメラ等)	568	42.7%
4. その他	70	5.3%
合 計	1,604	100%



[4. その他] の回答

- ・家庭に持ち込むことに不安を感じる（プライバシーの問題）
- ・同居している家族と会議が重なったとき困る
- ・家だと落ち着いて参加できない
- ・慣れていないとただ聞いているだけになってしまふのではないか
- ・年齢的に覚えられない
- ・短時間であれば参加できる
- ・少人数で意見が言えるほうがよい
- ・動画配信など都合がよい時に見られるほうがよい

項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	73 20.1%	66 22.4%	50 24.6%	53 23.0%	62 25.9%
2	183 50.3%	149 50.5%	89 43.8%	117 50.9%	124 51.9%
3	134 36.8%	126 42.7%	98 48.3%	108 47.0%	102 42.7%
4	23 6.3%	15 5.1%	5 2.5%	15 6.5%	12 5.0%
合 計	413 —	356 —	242 —	293 —	300 —

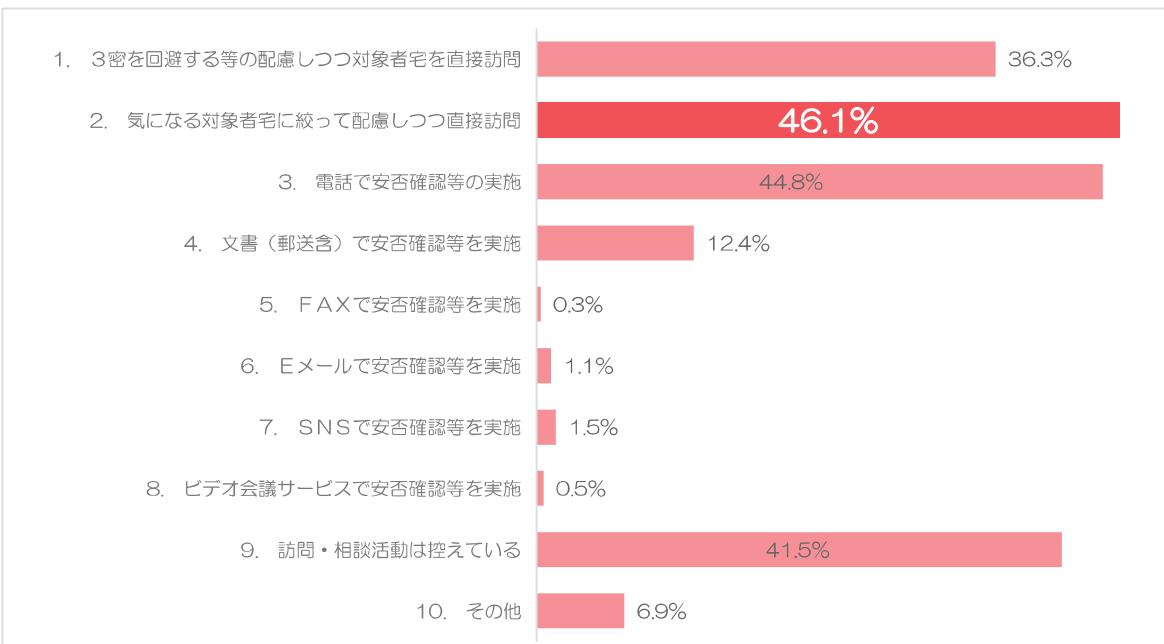
問34 様々な活動が自粛となるなか訪問・相談活動についてどのような対応を行っているか

(あてはまるもの全て)

項 目	回答数	割合
1. 3密を回避する等の配慮しつつ対象者宅を直接訪問	483	36.3%
2. 気になる対象者宅に絞って配慮しつつ直接訪問	614	46.1%
3. 電話で安否確認等の実施	596	44.8%
4. 文書（郵送含）で安否確認等を実施	165	12.4%
5. FAXで安否確認等を実施	4	0.3%
6. Eメールで安否確認等を実施	15	1.1%
7. SNSで安否確認等を実施	20	1.5%
8. ビデオ会議サービスで安否確認等を実施	7	0.5%
9. 訪問・相談活動は控えている	553	41.5%
10. その他	92	6.9%
合 計	2,549	—

[10. その他] の回答

- ・インターホン越しでの安否確認
- ・洗濯物やカーテンの開閉による安否確認
- ・隣近所への声かけ
- ・郵便物が溜まっているかでの安否確認
- ・散歩を兼ねて地域を回り外に出ている人に声かけを行っている
- ・町内を歩くことでの見回り
- ・外で会った際の声かけ
- ・民生委員・児童委員PRカードの配布
- ・パンフレットの配布
- ・子育て情報リーフレットの作成
- ・掲示板を活用した子育て情報の発信
- ・子育てサークルでのLINEの活用



項目	中央区	東 区	西 区	南 区	北 区
1	108 29.7%	80 27.1%	97 47.8%	104 45.2%	94 39.3%
2	179 49.2%	140 47.5%	88 43.3%	98 42.6%	109 45.6%
3	164 45.1%	135 45.8%	78 38.4%	91 39.6%	128 53.6%
4	40 11.0%	46 15.6%	17 8.4%	24 10.4%	38 15.9%
5	1 0.3%	2 0.7%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
6	4 1.1%	4 1.4%	2 1.0%	1 0.4%	4 1.7%
7	3 0.8%	5 1.7%	4 2.0%	1 0.4%	7 2.9%
8	0 0.0%	6 2.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%
9	156 42.9%	131 44.4%	79 38.9%	91 39.6%	96 40.2%
10	28 7.7%	29 9.8%	10 4.9%	11 4.8%	14 5.9%
合 計	683 —	578 —	376 —	422 —	490 —



おわりに

熊本市民生委員児童委員協議会

副会長 丸山 透

熊本市民生委員・児童委員の皆様、今回の活動実態調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が流行するなか、本調査の計画・実行・回収・スケジュールの延期等で皆様にご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

1917年の「済世顧問制度」から100年以上の歴史のなか、地域の福祉増進のため、我々民生委員・児童委員は役割を果たしてまいりました。

しかし、戦前、戦後、経済成長期、バブルの時代、それから低成長の時代と、社会の変化に伴い民生委員・児童委員の活動も変化し、人びとの地域でのつながりの希薄化が進み、活動の負担や扱い手不足の増大等、さまざまな課題が生じています。

今回、委員の皆様にお答えいただいた本調査においても同様に、さまざまな課題が明らかになりました。

この結果を踏まえ、

- 1 活動の範囲や役割の明確化
- 2 経験年数の少なさに伴う負担感を乗り越える仕組み
- 3 働きながら委員活動を両立できる環境の整備
- 4 単位民児協（会長）を中心とした組織的活動の推進

といった活動環境改善に取り組み、活動を通してやりがいと楽しみが得られるような委員活動を推進していきたいと思います。

民生委員・児童委員は、全員が単位民児協に属しています。日常のつながりを含め、単位民児協として活動に継続性を持たせ、組織としての理解と信頼を得ることで活動しやすい環境となり、またそれが負担の軽減につながるものと考えています。

今後さらなる調査結果の検証を進めながら、熊本市の行政機関また熊本市社会福祉協議会と協力し、今後の活動の指針としてまいります。



【編集・発行】

熊本市民生委員児童委員協議会

〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目4-27

TEL:096-288-2748 FAX:096-359-1800

【印刷】

シモダ印刷株式会社

令和4年(2022年)3月